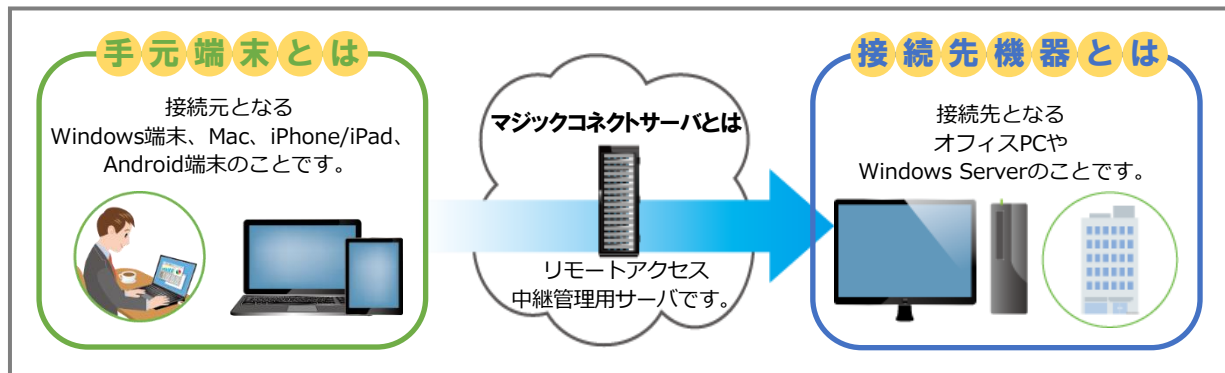


はじめに

マジックコネクトは、手元端末から接続先機器（対象機器）へ安全に接続できるリモートアクセスサービスです。



🔧 ご利用までの流れ

サービス開始時

	配布物	説明
1 配布物の確認 アカウント管理者※1から配布された右記の物をご確認ください。 <small>※1 貴社において、マジックコネクトのアカウントやUSBキーなどの管理を担当されている方です。</small>	マジックコネクトのアカウント情報	以下の2つの情報です。 <input type="checkbox"/> アカウント(ユーザ名) <input type="checkbox"/> パスワード
	USBキー※2	magicConnect と書かれたUSBキーです。 <small>※2 契約が「USB型」「USB型プレミアム」の場合のみ配布されます。USBキーはアカウント情報に紐付いています。</small>



2 接続先機器の設定 P. 2



3 手元端末の設定/操作 P. 8



4 パスワードの変更 P.28



各種マニュアルについて

「お客様サポート」→「マニュアル」に掲載しています。
[\(https://www.magicconnect.net/support/manual/\)](https://www.magicconnect.net/support/manual/)



困ったときは

エラーなどでセットアップがうまくいかない場合は、お客様サポートページ
[\(https://www.magicconnect.net/support/\)](https://www.magicconnect.net/support/) の「困ったときは」をご覧ください。
 上記を参照しても、問題が解決しない場合は、貴社のアカウント管理者へお問い合わせください。

接続先機器(対象機器)の設定

接続先機器とは

接続先となる
オフィスPCや
Windows Serverのことです。



Windows 10 を例に説明します。
設定は管理者権限で行ってください。

設定内容

- | | |
|------------------------------------|------------|
| 1. 事前準備(電源管理) | P. 3 |
| 2. MagicConnectクライアントプログラムのインストール | P. 4 |
| 3. MagicConnectクライアントプログラムの初期設定と接続 | P. 5 |

1. 事前準備（電源管理）

Step1 [スタート]を右クリック→[電源オプション]を開きます。

Step2 「スリープ」の「次の時間が経過後、PCをスリープ状態にする（電源に接続時）」を「なし」に設定します。

【Windows 11の場合】

「画面とスリープ」の「電源接続時に、次の時間が経過した後にデバイスをスリープ状態にする」を「なし」に設定します。



注意 接続先機器がスリープ状態になると、社外からマジックコネクトで接続できなくなります。

ワンポイント

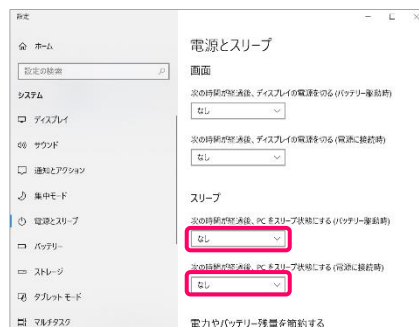
【接続先機器がノートパソコンの場合】

接続先機器がノートパソコンの場合、**Step2** の設定に加え、追加で以下2点の設定を行います。

① 「スリープ」に「次の時間が経過後、PCをスリープ状態にする（バッテリー駆動時）」の設定が追加で表示されますので、「なし」に設定します。

【Windows 11の場合】

「バッテリー駆動時に、次の時間が経過した後にデバイスをスリープ状態にする」の設定が追加で表示されますので、「なし」に設定します。



② カバーを閉じた時にスリープ状態になってしまうのを防ぐため、以下の設定を行います。

「電源とスリープ」の右側を下にスクロールし、[関連設定]の「電源の追加設定」を押し、表示された画面の左側メニューから「カバーを閉じたときの動作の選択」→ [カバーを閉じたときの動作:] → 「電源に接続：何もしない」を選択して、「変更の保存」を選択します。



【Windows 11の場合】

[スタート] → [すべてのアプリ] → [Windowsツール] → [コントロールパネル]を開き、[ハードウェアとサウンド]を選択します。
[電源オプション]の中から[電源ボタンの動作の変更]を開きます。
「電源とスリープ ボタンおよびカバーの設定」→ [カバーを閉じたときの動作:] → 「電源に接続：何もしない」を選択して、「変更の保存」を選択します。

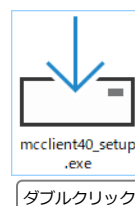
2. MagicConnectクライアントプログラムのインストール

Step1 弊社マジックコネクトWebサイトの以下URLにアクセスし、セットアップファイルをダウンロードします。

【セットアップファイルのダウンロード】

https://www.magicconnect.net/download/pkg/mcclient40_setup.exe

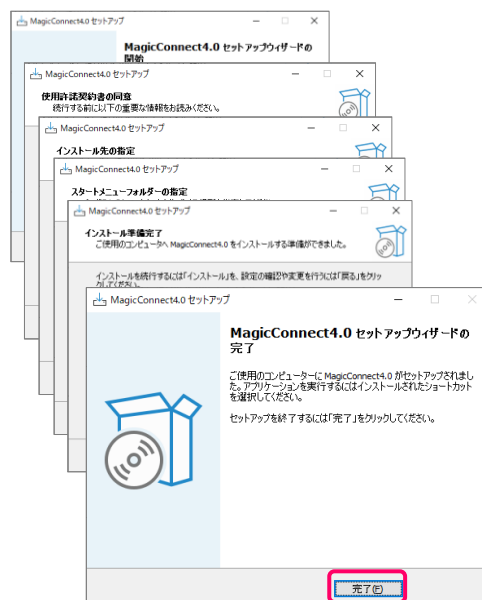
Step2 ダウンロードしたセットアップファイル（右記の「mcclient40_setup.exe」）をダブルクリックで実行します。



Step3 右記の確認ダイアログが表示された場合は「はい」を選択します。




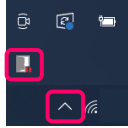
Step4 表示される画面の指示に従い、インストールを完了させます。



3. MagicConnectクライアントプログラムの初期設定と接続

Step 1 デスクトップの画面右下、通知領域に表示されているグレーのドアのアイコンを右クリックし、メニューから「設定...」を選択します。

注意 アイコンが表示されない場合は、通知領域の  を押し、隠れているドアのアイコンを表示させます。



ワンポイント

【アイコンが炎マークの場合】

Ver8.1r1より前のバージョンでは右記の炎マークのアイコンです。

導入時期によってはこちらのアイコンのバージョンをご利用中の場合があります。その場合、以降の手順中のアイコン表記を読み替えてください。あるいは、アプリのアップデートによりドアのアイコンへ変更できます。詳しくは下記によくあるご質問をご覧ください。

- [マジックコネクト・ネオのアイコンが途中から変わっています。](#)

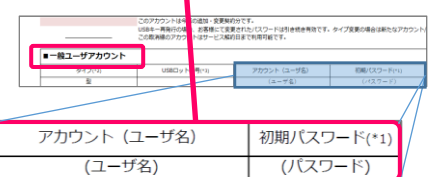
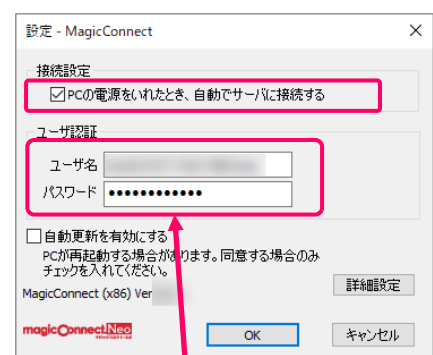


Step2

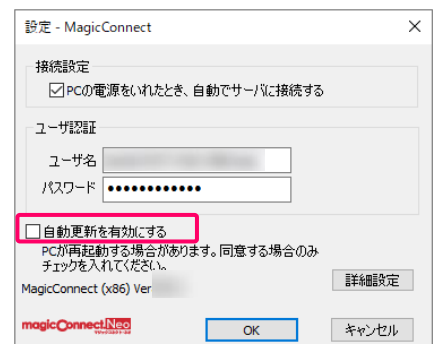
設定画面の「PCの電源をいれたとき、自動でサーバに接続する」にチェックを入れます。

次に、マジックコネクトのユーザ名とパスワードを入力します。

※ ユーザ名と初期パスワードは、「アカウント一覧表」の「一般ユーザアカウント」欄に記載されています。



必要に応じて「自動更新を有効にする」にチェックを入れます。

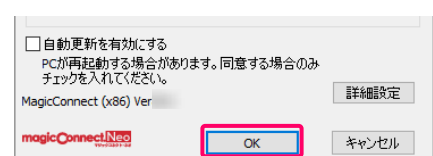


ワンポイント

【自動更新を有効にする】

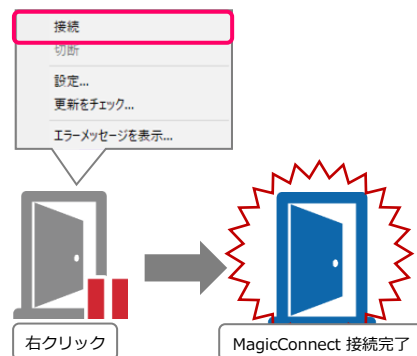
「自動更新を有効にする」がONの場合、最新バージョンのプログラムが公開された際に自動的に更新されます。更新は利用中ではないタイミング（リモートアクセス中ではないタイミング）で実施され、更新完了時に待ち受け状態が瞬断されます。
通常は待ち受け状態の瞬断のみですが、**PCの状態によってはPCが再起動する可能性があります。再起動が不都合な場合はOFFにしてください。**

「OK」を選択します。



Step3

デスクトップ画面右下の通知領域にあるドアのアイコンを右クリックし、メニューから「接続」を選択します。アイコンがグレーからブルーに変わり、マウスカーソルをアイコンに重ねると「MagicConnect 接続完了」と表示されます。



以上で、接続先機器側の準備は終了です。
接続先機器は画面ロック/ログオフをした状態で待機してください。

注意 スリープや電源オフ状態では、社外からマジックコネクトで接続できません。

END



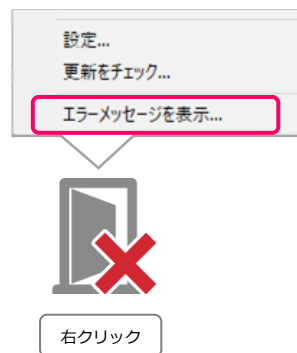
ワンポイント

【ドアのアイコンに×が表示される場合】

マジックコネクトサーバへの接続に失敗しています。
アイコンを右クリックし、メニューから「エラーメッセージを表示...」を選択し、接続に失敗している理由やお問い合わせコードをご確認ください。

代表的なお問い合わせコードと対処方法について

- お問い合わせコード **291**
 - p.6 Step2の「ユーザ名」「パスワード」に誤りが無いかご確認ください。
 - エラー理由が不明の場合、アカウント管理者向け管理機能により具体的な内容を確認できます。
[接続時に認証エラーが発生した場合の対処方法](#) をご覧ください。
- お問い合わせコード **1411** または **1441**
 - インターネットが利用可能な状態かご確認ください。
 - **ネットワークの管理者にProxyを利用する環境が確認してください。**
インターネット接続にProxyを利用する環境の場合、p.31の「[Proxyの設定](#)」を実施してください。



お問い合わせコードの詳しい説明や対処方法については、お客様サポートページ (<https://www.magicconnect.net/support/>) の[困ったときは]「お問い合わせコードと対処方法」も併せてご覧ください。

手元端末の設定 / 操作

手元端末とは

接続元となる
Windows端末、Mac、iPhone/iPad、
Android端末のことです。



事前準備

「USB型」「USB型プレミアム」契約

USBキーを利用せず、手元端末にインストールしたアプリを利用する場合は、セットアップの前に台数変更の設定が必要です。

初めに[次ページのワンポイント](#)を参照してください。

「アプリ型」「アプリ型プレミアム」契約

2台以上の手元端末から利用予定がある場合は、セットアップの前に台数変更の設定が必要です。

初めに[p.10のワンポイント](#)を参照してください。

上記に当てはまらない場合は、台数変更の設定は不要です。

ビューアアプリの実行方法と手元端末の種類に応じた手順ページへお進みください。

「USB型」「USB型プレミアム」契約の場合

ビューアアプリの実行方法	手元端末の台数	手元端末の種類	設定/操作の手順
USBキーを手元端末に挿し、USBキー内のアプリを実行する	不特定	Windows端末	>> P.11



ビューアアプリの実行方法	手元端末の台数	手元端末の種類	設定/操作の手順
手元端末にインストールしたアプリを実行する	特定の端末 0台（初期設定）～ 最大2台 (※1)	Windows端末	>> P.14
		Mac	>> P.19
		iPhone/iPad, Android端末	>> P.23



ワンポイント

【※1 特定の端末】

利用する手元端末を特定するため、手元端末の固有情報（端末認証情報）が初回ログイン時にサーバへ登録されます。

「USB型」「USB型プレミアム」契約の場合、登録可能な手元端末の台数は**初期設定で「0台」**です。**アカウント管理者に依頼することで最大2台まで増やせます。**

設定された台数に達すると、新しい手元端末からは利用できなくなります。手元端末を変更するには、サーバからの登録解除（端末認証情報の初期化）を、アカウント管理者に依頼してください。

アカウント管理者の手順については

「[管理機能の利用手順\(アカウント管理者\)](#)」の

「3.3. 利用可能なアプリケーションと台数を変更する」及び

「3.4. ビューアをインストールした手元端末を変更する」をご覧ください。

- USBキーから実行する場合の手元端末は登録されません。台数制限無く不特定の手元端末を利用できます。

「アプリ型」「アプリ型プレミアム」契約の場合

ビューアアプリの実行方法	手元端末の台数	手元端末の種類	設定/操作の手順
手元端末にインストールしたアプリを実行する	特定の端末 1台（初期設定） ~ 最大3台 (※)	Windows端末	>> P.14
		Mac	>> P.19
		iPhone/iPad, Android端末	>> P.23

「アプリ型ライト」契約の場合

ビューアアプリの実行方法	手元端末の台数	手元端末の種類	設定/操作の手順
手元端末にインストールしたアプリを実行する	特定の端末 1台 (※)	Windows端末	>> P.14
		Mac	>> P.19
		iPhone/iPad, Android端末	>> P.23

 **ワンポイント**

【※ 特定の端末】

利用する手元端末を特定するため、手元端末の固有情報（端末認証情報）が初回ログイン時にサーバへ登録されます。

- 「アプリ型」「アプリ型プレミアム」契約の場合、登録可能な手元端末の台数は**初期設定で「1台」**です。**アカウント管理者に依頼することで最大3台まで増やせます。**
- 「アプリ型ライト」契約の場合、登録可能な手元端末の台数は**「1台」で固定**です。

それぞれ設定された台数に達すると、新しい手元端末からは利用できなくなります。手元端末を変更するには、サーバからの登録解除（端末認証情報の初期化）を、アカウント管理者に依頼してください。

アカウント管理者の手順については

「[管理機能の利用手順\(アカウント管理者\)](#)」の

「3.3. 利用可能なアプリケーションと台数を変更する」及び

「3.4. ビューアをインストールした手元端末を変更する」をご覧ください。

手元端末の設定 / 操作 [USB]

USBキーを手元端末に挿し、USBキー内のビューアアプリを実行する場合の手順です。

Windows 10を例に説明します。

設定内容

1. MagicConnectビューアアプリの実行 P.11
2. MagicConnectビューアアプリ初期設定と接続 P.12
3. MagicConnectビューアアプリの終了 P.13

1. MagicConnectビューアアプリの実行

Step 1

パソコンにUSBキーを挿し、[スタート]を右クリックして[エクスプローラー]を選択します。エクスプローラー左側のナビゲーションウィンドウ（ツリー表示のウィンドウ）から[PC]を選択します。表示された「MagicConnectNeo」を開き、赤いドアのアイコン「mc_viewer.exe」をダブルクリックして実行します。

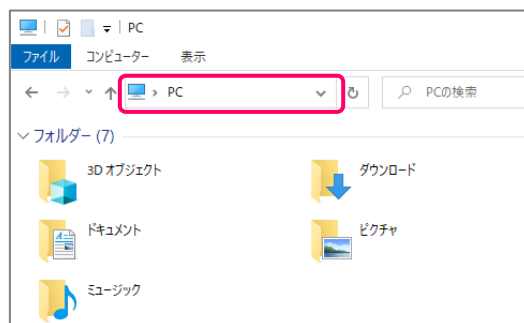


ダブルクリック

ワンポイント

【エクスプローラー左側のナビゲーションウィンドウが存在しない場合】

ナビゲーションウィンドウが表示されず、[PC]が見つからない場合は、エクスプローラー上部のアドレスバーに「PC」と入力して移動してください。



ワンポイント

【アイコンが炎マークの場合】

Ver8.1r1より前のバージョンでは右記の炎マークのアイコンです。

USBキーの納品時期によってはこちらのアイコンのアプリが格納されている場合があります。その場合、以降の手順中のアイコン表記を読み替えてください。あるいは、アプリのアップデートにより赤いドアのアイコンへ変更できます。詳しくは下記をよくあるご質問をご覧ください。

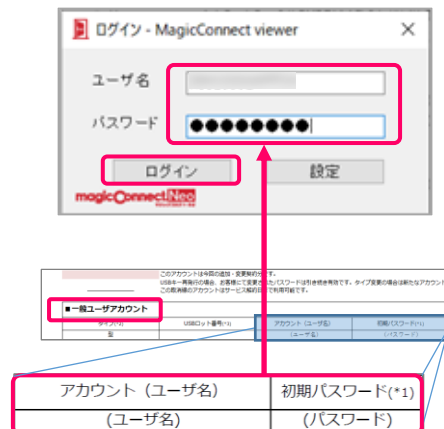
- [マジックコネクト・ネオのアイコンが途中から変わっています。](#)



2. MagicConnectビューアアプリの初期設定と接続

Step1 ログイン画面の「ユーザ名」と「パスワード」に、マジックコネクトのアカウント(ユーザ名)とパスワードを入力して、「ログイン」を選択します。

※ ユーザ名と初期パスワードは、「アカウント一覧表」の「一般ユーザアカウント」欄に記載されています。



ワンポイント

【お問い合わせコード 1413 または 1443 が表示される場合】

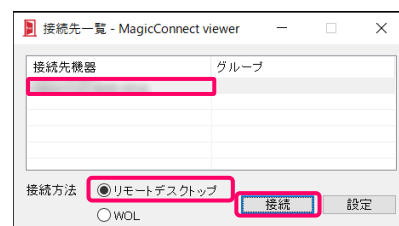
- 手元端末でインターネットが利用可能な状態かご確認ください。
- **ネットワークの管理者にProxyを利用する環境が確認してください。**
ご利用環境によっては、Proxyの設定を手動で実施する必要があります。ネットワークの管理者にProxyの情報を確認の上、p.34の「[Proxyの設定](#)」を実施してください。

ワンポイント

【お問い合わせコード 283 が表示される場合】

- 「ユーザ名」「パスワード」に誤りが無いかご確認ください。
- エラー理由が不明の場合、アカウント管理者向け管理機能により具体的な内容を確認できます。
[接続時に認証エラーが発生した場合の対処方法](#) をご覧ください。

Step2 接続先一覧画面の「接続先機器」から、接続したい接続先機器(対象機器)を選択します。
「接続方法」から「リモートデスクトップ」が選択されていることを確認し、「接続」を選択します。



ワンポイント

【Windowsセキュリティの警告が表示される場合】

マジックコネクトを初めて利用するPCでは、リモートデスクトップの接続を開始した直後に「Windows Defender ファイアウォールでブロックされています」という警告が表示される場合があります。ブロックされた状態であってもマジックコネクトを正常に利用できますので、「キャンセル」を押して警告を閉じてください。



Step3 右記の画面に接続先機器のWindowsユーザー名、パスワードを入力して、「→」を選択します。
デスクトップ画面が表示され、接続先機器の操作が可能になります。



ワンポイント

【接続先機器への接続やWindowsサインインに失敗する場合】

以下のよくあるご質問をご確認ください。

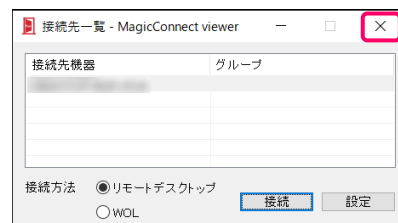
- [青い画面や黒い画面のまま何も表示されない。](#)
- [メッセージ「アカウントの制限により、このユーザーはサインインできません。空のパスワードが許可されていない……」](#)
- [メッセージ「リモートデスクトップサービス経由でサインインする権限が必要です」](#)
- [メッセージ「認証が有効になっていないため接続を続行できません……」](#)
- [メッセージ「ネットワークレベルの認証が必要です……」](#)
- [お問い合わせコード:743](#)
- [お問い合わせコード:1073](#)
- [お問い合わせコード:1083](#)
- [お問い合わせコード:1433](#)

3. MagicConnectビューアアプリの終了

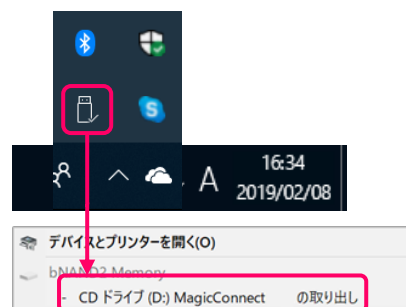
Step1 マウスイカーソルをデスクトップ画面の最上端に移動し、台形の上部バーの「×」を選択します。



Step2 接続先一覧画面の「×」を選択します。



Step3 タスクバーの取り外しアイコンを押して、「CDドライブ(DVD-RWドライブ)の取り出し」あるいは「MagicConnect の取り出し」を選択し、USBキーを取り外します。



⚠ 注意 トラブルの原因となりますので、必ず上記手順を行ってください。

END

手元端末の設定 / 操作 [Windows]

手元端末（Windows）にインストールしたビューアアプリを実行する場合の手順です。

Windows 10を例に説明します。

設定内容

1. MagicConnectビューアアプリのインストール P.14
2. MagicConnectビューアアプリの実行 P.15
3. MagicConnectビューアアプリの初期設定と接続 P.15
4. MagicConnectビューアアプリの終了 P.18

1. MagicConnectビューアアプリのインストール

Step1

マジックコネクトWebサイトの以下URLにアクセスし、セットアッププログラムをダウンロードします。

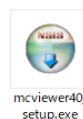
【セットアッププログラムのダウンロード】

https://www.magicconnect.net/download/pkg/mcviewer40_setup.exe

⚠ 注意 接続先機器にインストールしたプログラムとは別のプログラムです。

Step2

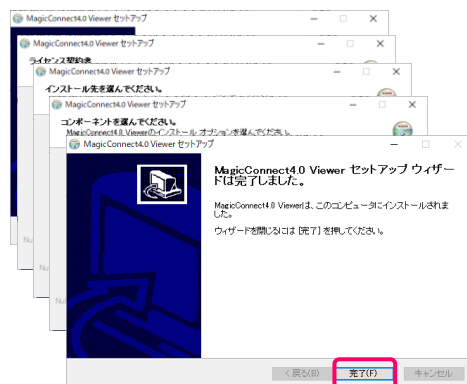
ダウンロードしたセットアッププログラム（右記の「mcviewer40_setup.exe」）をダブルクリックで実行します。



ダブルクリック

Step3

表示される画面の指示に従い、インストールを完了させます。



2. MagicConnectビューアアプリの実行

Step 1 デスクトップ、もしくは [スタート]→[MagicConnect4.0 Viewer] から右記のアイコン「MagicConnect4.0 Viewer」を実行します。



ダブルクリック



ワンポイント

【アイコンが炎マークの場合】

Ver8.1r1より前のバージョンでは右記の炎マークのアイコンです。

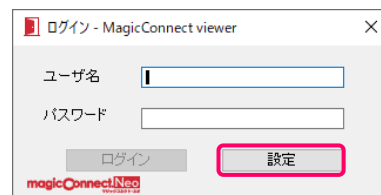
導入時期によってはこちらのアイコンのバージョンをご利用中の場合があります。その場合、以降の手順中のアイコン表記を読み替えてください。あるいは、アプリのアップデートによりドアのアイコンへ変更できます。詳しくは下記のご質問をご覧ください。

- マジックコネクト・ネオのアイコンが途中から変わっています。



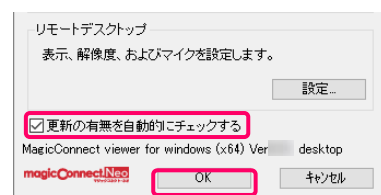
3. MagicConnectビューアアプリの初期設定と接続

Step 1 ログイン画面で「設定」を選択します。



Step 2 「更新の有無を自動的にチェックする」にチェックを入れます。

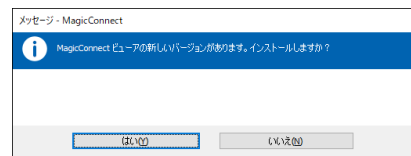
「OK」を選択します。



ワンポイント

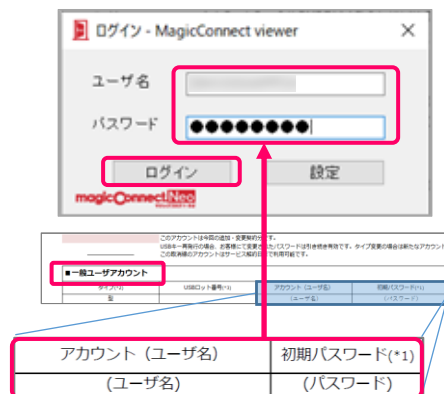
【更新の有無を自動的にチェックする】

「更新の有無を自動的にチェックする」がONの場合、最新バージョンのアプリが公開された際に利用者へ通知されます。利用者が「はい」を選択するとアプリが更新されます。利用者が「いいえ」を選択すると通知は消えますが、期間を置いて再度通知されます。



Step3 ログイン画面の「ユーザ名」と「パスワード」に、マジックコネクトのアカウント(ユーザ名) とパスワードを入力して、「ログイン」を選択します。

※ ユーザ名と初期パスワードは、「アカウント一覧表」の「一般ユーザアカウント」欄に記載されています。



ワンポイント

【お問い合わせコード 1413 または 1443 が表示される場合】

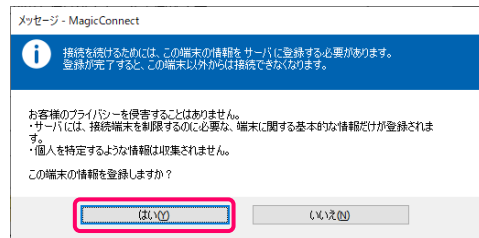
- ・ 手元端末でインターネットが利用可能な状態かご確認ください。
- ・ **ネットワークの管理者にProxyを利用する環境が確認してください。**
ご利用環境によっては、Proxyの設定を手動で実施する必要があります。
ネットワークの管理者にProxyの情報を確認の上、p.34の「[Proxyの設定](#)」を実施してください。

ワンポイント

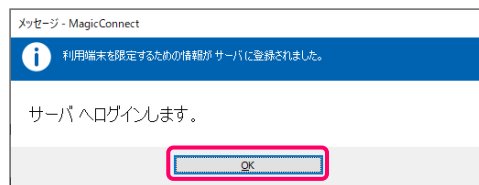
【お問い合わせコード 293 が表示される場合】

- ・ 「ユーザ名」「パスワード」に誤りが無いかご確認ください。
- ・ エラー理由が不明の場合、アカウント管理者向け管理機能により具体的な内容を確認できます。
[接続時に認証エラーが発生した場合の対処方法](#) をご覧ください。

Step4 初回ログイン時には右記のメッセージが表示されます。「はい」を押すと、手元端末の固有情報（端末認証情報）がサーバへ登録されます。



メッセージ「サーバへログインします。」が表示されたら「OK」を選択します。

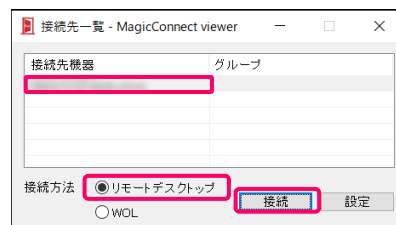


ワンポイント

【お問い合わせコード 1573 が表示される場合】

端末認証情報を登録した手元端末の台数が上限に達しています。アカウント管理者に依頼して上限を変更するか登録済みの端末認証情報を初期化する必要があります。アカウント管理者の手順については「[管理機能の利用手順\(アカウント管理者\)](#)」の「3.3. 利用可能なアプリケーションと台数を変更する」及び「3.4. ビューアをインストールした手元端末を変更する」をご覧ください。

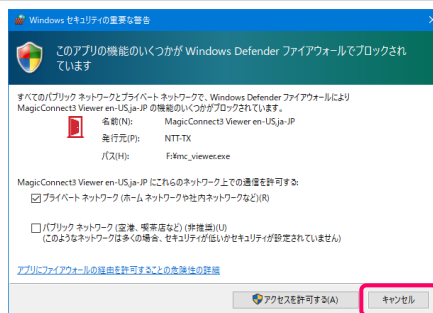
Step5 接続先一覧画面の「接続先機器」から、接続したい接続先機器（対象機器）を選択します。
「接続方法」から「リモートデスクトップ」が選択されていることを確認し、「接続」を選択します。



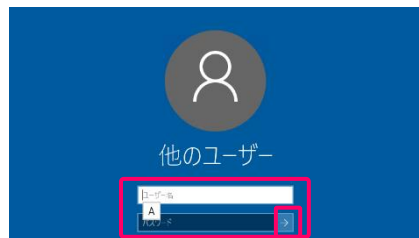
ワンポイント

【Windowsセキュリティの警告が表示される場合】

マジックコネクトを初めて利用するPCでは、リモートデスクトップの接続を開始した直後に「Windows Defender ファイアウォールでブロックされています」という警告が表示される場合があります。ブロックされた状態であってもマジックコネクトを正常に利用できますので、「キャンセル」を押して警告を閉じてください。



Step6 右記の画面に接続先機器のWindowsユーザー名、パスワードを入力して、「→」を選択します。
デスクトップ画面が表示され、接続先機器の操作が可能になります。



ワンポイント

【接続先機器への接続やWindowsサインインに失敗する場合】

以下のよくあるご質問をご確認ください。

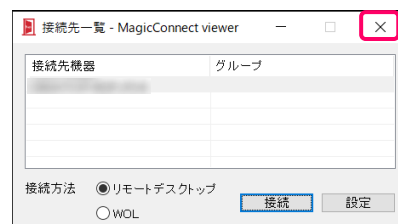
- [青い画面や黒い画面のまま何も表示されない。](#)
- [メッセージ「アカウントの制限により、このユーザーはサインインできません。空のパスワードが許可されていない……」](#)
- [メッセージ「リモートデスクトップサービス経由でサインインする権限が必要です」](#)
- [メッセージ「認証が有効になっていないため接続を続行できません……」](#)
- [メッセージ「ネットワークレベルの認証が必要です……」](#)
- [お問い合わせコード:743](#)
- [お問い合わせコード:1073](#)
- [お問い合わせコード:1083](#)
- [お問い合わせコード:1433](#)

4. MagicConnectビューアアプリの終了

Step1 マウ斯卡ーソルをデスクトップ画面の最上端に移動し、台形の上部バーの「×」を選択します。



Step2 接続先一覧画面の「×」を選択します。



END

手元端末の設定 / 操作 [Mac]

手元端末（Mac）にインストールしたビューアアプリを実行する場合の手順です。

macOS Mojave を例に説明します。

MacにApple IDを設定してから、
本設定を行ってください。

設定内容

1. MagicConnectビューアアプリのインストール P.19
2. MagicConnectビューアアプリの実行 P.19
3. MagicConnectビューアアプリの初期設定と接続 P.20
4. 手元端末(Mac)の操作 P.22
5. MagicConnectビューアアプリの終了 P.22

1. MagicConnectビューアアプリのインストール

Step 1 [App Store]アプリから、MagicConnect viewerをインストールします。



2. MagicConnectビューアアプリの実行

Step 1 「Launchpad（もしくは「Finder」→「アプリケーション」フォルダ）」内にある、炎マークのアイコン「MagicConnect」を実行します。

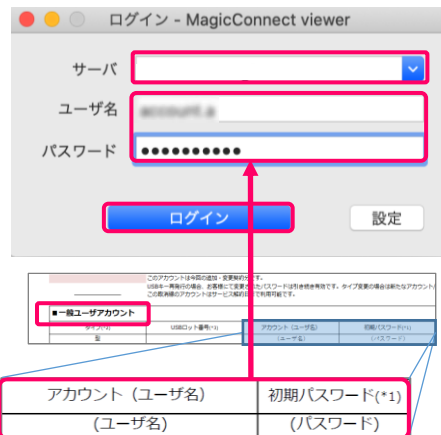


3. MagicConnectビューアアプリの初期設定と接続

Step1 ログイン画面の「サーバ」が空欄であることを確認します。
「サーバ」が空欄でない場合は削除してください。

続いてマジックコネクトの「ユーザ名」と「パスワード」を入力し、「ログイン」を選択します。

※ ユーザ名と初期パスワードは、「アカウント一覧表」の「一般ユーザアカウント」欄に記載されています。



ワンポイント

【お問い合わせコード 1413 または 1443 が表示される場合】

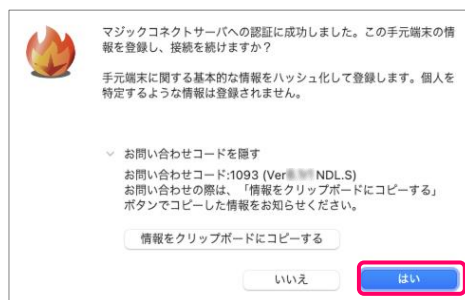
- 手元端末でインターネットが利用可能な状態かご確認ください。
- Step1の「サーバ」が空欄であることをご確認ください。
- ネットワークの管理者にProxyを利用する環境が確認してください。
ご利用環境によっては、Proxyの設定を手動で実施する必要があります。
ネットワークの管理者にProxyの情報を確認の上、p.35の「Proxyの設定」を実施してください。

ワンポイント

【お問い合わせコード 293 が表示される場合】

- 「ユーザ名」「パスワード」に誤りが無いかご確認ください。
- エラー理由が不明の場合、アカウント管理者向け管理機能により具体的な内容を確認できます。
[接続時に認証エラーが発生した場合の対処方法](#)をご覧ください。

Step2 初回ログイン時には右記のメッセージが表示されます。
「はい」を押すと、手元端末の固有情報（端末認証情報）がサーバに登録されます。



ワンポイント

【お問い合わせコード 1573 が表示される場合】

端末認証情報を登録した手元端末の台数が上限に達しています。
アカウント管理者に依頼して上限を変更するか登録済みの端末認証情報を初期化する必要があります。
アカウント管理者の手順については「[管理機能の利用手順\(アカウント管理者\)](#)」の「3.3. 利用可能なアプリケーションと台数を変更する」及び「3.4. ビューアをインストールした手元端末を変更する」をご覧ください。

- Step3** 接続先一覧画面の「接続先機器」から、接続したい接続先機器（対象機器）を選択します。
「接続方法」から「リモートデスクトップ」が選択されていることを確認し、「接続」を選択します。



- Step4** 右記の画面に接続先機器のWindowsユーザー名、パスワードを入力して、「→」を選択します。
デスクトップ画面が表示され、接続先機器の操作が可能になります。



 **ワンポイント**

【接続先機器への接続やWindowsサインインに失敗する場合】

以下のよくあるご質問をご確認ください。

- [青い画面や黒い画面のまま何も表示されない。](#)
- [メッセージ「アカウントの制限により、このユーザーはサインインできません。空のパスワードが許可されていない……」](#)
- [メッセージ「リモートデスクトップサービス経由でサインインする権限が必要です」](#)
- [メッセージ「認証が有効になっていないため接続を続行できません……」](#)
- [メッセージ「ネットワークレベルの認証が必要です……」](#)
- [お問い合わせコード:743](#)
- [お問い合わせコード:1073](#)
- [お問い合わせコード:1083](#)
- [お問い合わせコード:1433](#)

4. 手元端末 (Mac) の操作

特殊キーについて

Macキーボードの特殊キーは、Windows側で右記のキーとして扱われます。

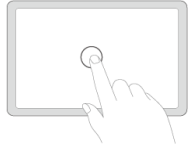

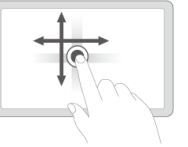
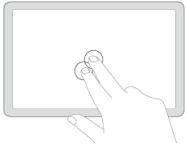
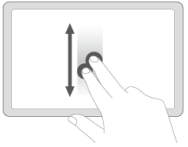
<特殊キー対照表>

Macキー	Windowsキー
⌘(command)	Windowsキー
^(control)	Controlキー
⌥(option/alt)	Altキー
⇧(shift)	Shiftキー
かな	全角
英数	半角
fn+delete	Deleteキー

ワンポイント

【タッチトラックパッドによる操作方法】

タッチトラックパッドによる操作は以下のとおりです。

左クリック	左ダブルクリック	左ドラッグ	右クリック	ホイール
				
1本の指でクリックする。	1本の指で2回クリックする。	1本の指でクリックし、指を離さずドラッグする。	副ボタンのクリック (標準は2本の指でクリック)。	2本の指で上下にスクロールする。

5. MagicConnectビューアアプリの終了

Step1 マウスマウスカーソルをデスクトップ画面の最上端に移動し、MagicConnectのアプリケーションメニューバーを表示し、左側にある「MagicConnect」を選択します。



Step2 「MagicConnectを終了」を選択します。



END

手元端末の設定 / 操作 [iPhone/iPad, Android端末]

手元端末 (iPhone、iPad、Android端末) にインストールしたビューアアプリを実行する場合の手順です。

iPhone, iPadの場合

iPhone/iPadにApple IDを設定してから、本設定を行ってください。

Android端末の場合

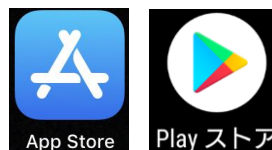
Android端末にGoogleアカウントを設定してから、本設定を行ってください。

設定内容

1. MagicConnect ビューアアプリのインストール P.23
2. MagicConnect ビューアアプリの初期設定と接続 P.23
3. 手元端末 (iPhone/iPad) の操作 P.26
4. 手元端末 (Android端末) の操作 P.27

1. MagicConnect ビューアアプリのインストール

Step1 [App Store]、[Playストア]アプリから MagicConnect ビューアアプリインストールします。



magicconnect

[magicconnect]で検索

2. MagicConnect ビューアアプリの初期設定と接続

Step1 インストールされた右記のアプリを選択します。



Step2 「サーバ」は入力せず空欄のままにします。



ワンポイント

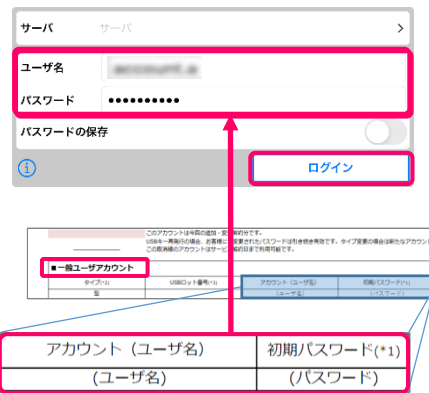
【「サーバ」が空欄でない場合】

「サーバ」が空欄でない場合は「サーバ」を選択し、サーバ画面の下部にある「サーバ設定を解除」を選択します。



Step3

「ユーザ名」と「パスワード」に、マジックコネクトのアカウント(ユーザ名)とパスワードを入力して、「ログイン」を選択します。



※アカウント(ユーザ名)と初期パスワードは、「アカウント一覧表」の「一般ユーザアカウント」欄に記載されています。

ワンポイント

【お問い合わせコード 1413 または 1443 が表示される場合】

- 手元端末でインターネットが利用可能な状態かご確認ください。
- Step2の「サーバ」が空欄であることをご確認ください。
- **ネットワークの管理者にProxyを利用する環境が確認してください。**
ご利用環境によっては、Proxyの設定を手動で実施する必要があります。
ネットワークの管理者にProxyの情報を確認の上、p.36の「[Proxyの設定](#)」を実施してください。

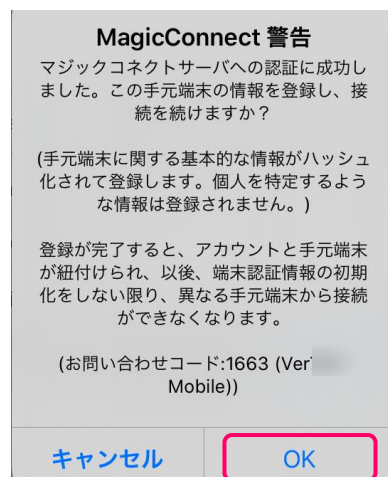
ワンポイント

【お問い合わせコード 293 が表示される場合】

- 「ユーザ名」「パスワード」に誤りが無いかご確認ください。
- Step2の「サーバ」が空欄であることをご確認ください。
- エラー理由が不明の場合、アカウント管理者向け管理機能により具体的な内容を確認できます。アカウント管理者に確認を依頼してください。アカウント管理者による確認手順は[接続時に認証エラーが発生した場合の対処方法](#)をご覧ください。

Step4

初回ログイン時には右記のメッセージが表示されます。「OK」を押すと、手元端末の固有情報(端末認証情報)がサーバに登録されます。



ワンポイント

【お問い合わせコード 1573 が表示される場合】

端末認証情報を登録した手元端末の台数が上限に達しています。アカウント管理者に依頼して上限を変更するか登録済みの端末認証情報を初期化する必要があります。アカウント管理者の手順については「[管理機能の利用手順\(アカウント管理者\)](#)」の「3.3. 利用可能なアプリケーションと台数を変更する」及び「3.4. ビューアをインストールした手元端末を変更する」をご覧ください。

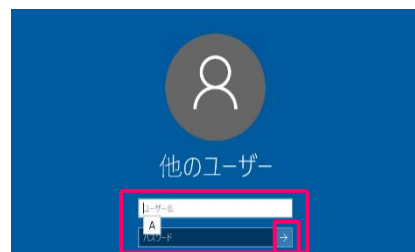
Step5 接続先一覧画面で、「接続方法:」から「リモートデスクトップ」が選択されていることを確認します。
「接続先:」から、接続したい接続先機器を選択します。



Step6 Windowsログイン情報入力画面で、Windowsのユーザー名とパスワード、必要に応じてドメインを入力し、「接続先の画面を表示」を選択します。
ユーザー名とドメインは、1組だけ保存されます。



上記でユーザー名などを入力せずに「接続先の画面を表示」を選択した場合は、右記の画面でWindowsのユーザー名とパスワードを入力し、「→」を選択します。



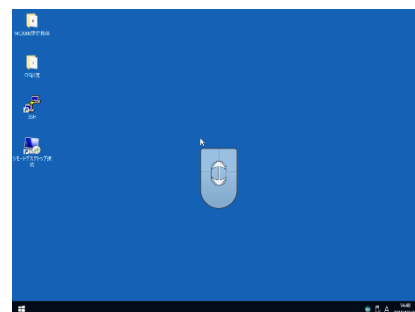
ワンポイント

【接続先機器への接続やWindowsサインインに失敗する場合】

以下のよくあるご質問をご確認ください。

- [青い画面や黒い画面のまま何も表示されない。](#)
- [一瞬黒い画面が表示された後に元の画面へ戻る。](#)
- [メッセージ「アカウントの制限により、このユーザーはサインインできません。空のパスワードが許可されていない……」](#)
- [メッセージ「リモートデスクトップサービス経由でサインインする権限が必要です」](#)
- [メッセージ「ネットワークレベルの認証が必要です……」](#)
- お問い合わせコード:743
- お問い合わせコード:1433

Step7 デスクトップ画面と仮想マウスが表示され、接続先機器の操作が可能になります。



【手元端末(iPhone/iPad)の操作】

[P.26](#)へ お進みください。

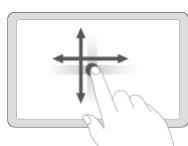
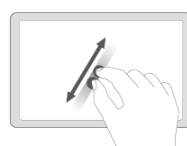
【手元端末(Android)の操作】

[P.27](#)へ お進みください。









3. 手元端末(iPhone/iPad)の操作

Windowsデスクトップ画面の操作方法は、下記を参照してください。

画面全体の操作

画面の移動	画面の縮小/拡大
 <p>1本の指でドラッグする。</p>	 <p>2本の指でピンチする。</p>

各機能の表示や切替

メニューとキーボード	仮想マウス	英語/日本語の入力切替
<p>表示 画面下部の  ボタンを選択する。</p> <p>非表示 メニューの  ボタンを選択する。</p>	<p>表示 メニューを表示し、 ボタンを選択してから、 ボタンを選択する。</p> <p>非表示 メニューを表示し、 ボタンを選択してから、 ボタンを選択する。</p>	<p>キーボードを表示し、キーボード左下の  ボタンもしくは、左上の  ボタンを選択する。</p>

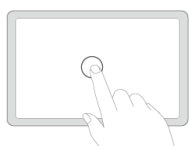
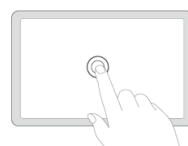
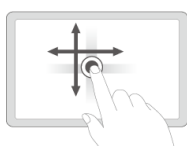
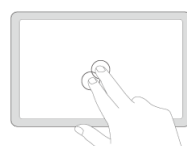
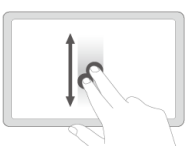
マウスの操作

画面上に表示された仮想マウスを操作してください。


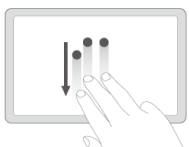
ワンポイント

【さらに便利な操作方法】

仮想マウスによる操作と同時に、画面を直接タップ、スクロールする操作も可能です。

左クリック	左ダブルクリック	左ドラッグ	右クリック	ホイール
 <p>1本の指でタップする。</p>	 <p>1本の指で2回タップする。</p>	 <p>1本の指で2回タップし、指を離さずドラッグする。</p>	 <p>2本の指でタップする。 または、1本の指で長押しする。</p>	 <p>2本の指で上下にスクロールする。</p>




メニュー/キーボードの表示/非表示を3本指で操作することも可能です。

メニュー	キーボード
 <p>3本の指でタップする。</p>	 <p>3本の指で下にスワイプする。</p>

<操作説明>

アクション	操作説明
ドラッグ	1本の指で画面をなぞる
ピンチ	2本の指で画面をつまむ(広げる)
タップ	1本の指で画面を軽く叩く
スクロール	画面を上下になぞる
スワイプ	画面を下方向になぞる

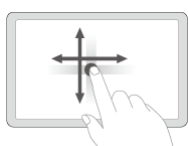
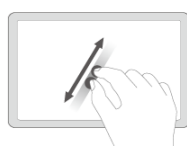
切断

Step 1 画面下部の  ボタンを選択し、表示されたメニューから  ボタンを選択、 ボタンを選択します。



4. 手元端末(Android端末)の操作

Windowsデスクトップ画面の操作方法は、下記を参照してください。

画面全体の操作

画面の移動	画面の縮小/拡大
 <p>1本の指でドラッグする。</p>	 <p>2本の指でピンチする。</p>

各機能の表示や切替

メニュー	キーボード	仮想マウス	英語/日本語の入力切替
表示 / 非表示 画面中央下の  を選択する。 ビューア画面右下「⋮」縦3点ボタンを選択する。	表示 / 非表示 メニューを表示し、「キーボード」キーボード ボタンを選択する。	表示 / 非表示 メニューを表示し、「マウス」マウス ボタンを選択する。	キーボードを表示し、画面上部にある  ボタンを選択する。

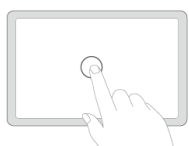
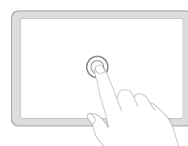
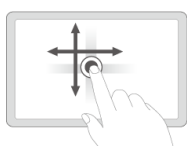
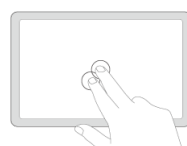
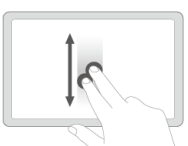
マウスの操作

画面上に表示された仮想マウスを操作してください。

ワンポイント

【さらに便利な操作方法】

仮想マウスによる操作と同時に、画面を直接タップ、スクロールする操作も可能です。

左クリック	左ダブルクリック	左ドラッグ	右クリック	ホイール
 <p>1本の指でタップする。</p>	 <p>1本の指で2回タップする。</p>	 <p>1本の指で2回タップし、指を離さずドラッグする。</p>	 <p>2本の指でタップする。または、1本の指で長押しする。</p>	 <p>2本の指で上下にスクロールする。</p>



キーボードの表示/非表示を3本指で操作することも可能です。

キーボード
 <p>3本の指で下にスワイプする。</p>

<操作説明>

アクション	操作説明
ドラッグ	1本の指で画面をなぞる
ピンチ	2本の指で画面をつまむ(広げる)
タップ	1本の指で画面を軽く叩く
スクロール	画面を上下になぞる
スワイプ	画面を下方向になぞる

切断

- Step 1** 画面中央下の  ボタンを選択し、表示されたメニューから  「切断」ボタンを選択します。

END

パスワードの変更

アカウント管理者から配布された初期パスワードを自分だけが知る新しいパスワードへ変更します。その後、クライアントプログラムに保存したパスワードも、同じ新しいパスワードに設定します。

設定内容

- | | |
|-----------------------------|-------------|
| 1. 管理機能からパスワードを変更 | P. 28 |
| 2. クライアントプログラムが保存するパスワードを変更 | P. 30 |

⚠ 注意 【パスワード変更操作は接続先機器側で実施してください】

マジックコネクトサーバの管理機能を使ってパスワードを変更したら、接続先機器（対象機器）のクライアントプログラムが保存しているパスワードも直後に変更する必要があります。クライアントプログラムからマジックコネクトサーバへの接続が解除されてしまうとリモートからクライアントプログラムを操作できなくなるため、以降の操作は必ず接続先機器側で実施してください。

1. 管理機能からパスワードを変更

Step 1 マジックコネクトホームページ(<https://www.magicconnect.net/>)より、「管理機能」を選択します。



Step 2 「マジックコネクト・ネオ」の「ログインはこちら」をクリックします。



Step3 マジックコネクトのユーザ名とパスワードを入力し、「ログイン」を選択します。

p.6でクライアントプログラムに設定したユーザ名とパスワードです。
初期パスワードは「アカウント一覧表」の「一般ユーザアカウント」欄に記載されています。

このアカウントは4桁の暗号・変更が可能です。
USBキーの暗号・変更にて変更可能なパスワードは暗号化されたアカウントです。
この暗号化されたアカウントはパスワードとして暗号化されたままでも使用可能です。

タイプ	USBポート番号	アカウント (ユーザ名)	初期パスワード
一般		(ユーザ名)	(パスワード)

Step4 「パスワード変更」を選択します。

Step5 「現在のパスワード」と「新しいパスワード」を入力します。
誤入力防止のため「新しいパスワード (確認)」を入力します。
最後に「変更」を選択します。

パスワードは、10文字以上255文字以内の長さで、半角の英大文字と数字・記号を混在させてください。

現在のパスワード	現在のパスワード
新しいパスワード	新しいパスワード
新しいパスワード (確認)	新しいパスワード (確認)

パスワード変更を行うとご利用中の「MagicConnect agent」と「MagicConnect viewer」でパスワードの再入力が必要になります。

パスワードを変更すると「MagicConnect agent」でパスワードの再入力が必要です。
パスワードの再入力手順については、以下のページをご覧ください。

- MagicConnect agentのパスワード変更方法

変更

Step6 パスワードの変更に成功したら「ログアウト」を選択します。

管理機能 アカウント有効期限: 一般ユーザ ログアウト

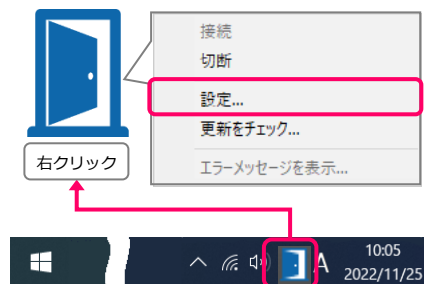
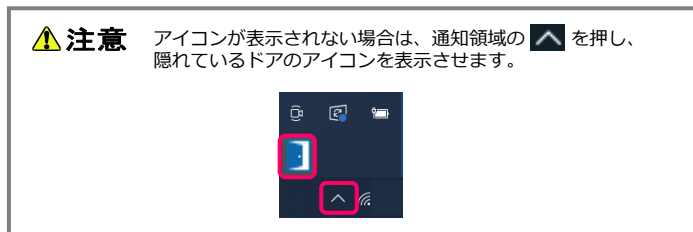
アクセス履歴 グループ化接続構成 **パスワード変更**

パスワードは変更されました。

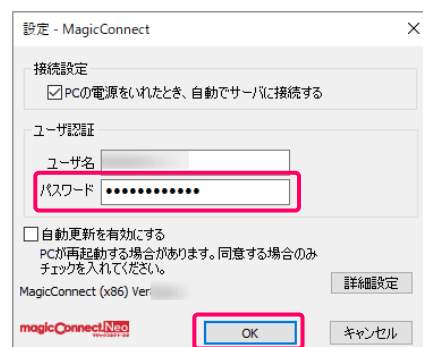
⚠ 注意 【次のページの作業も続けて実施してください】

2. クライアントプログラムが保存するパスワードを変更

Step1 デSKTOPの画面右下、通知領域に表示されているドアのアイコンを右クリックし、メニューから「設定...」を選択します。



Step2 「パスワード」に「1. 管理機能からパスワードを変更」で設定したパスワードを入力し、「OK」を選択します。



Step3 接続中の場合、切断、接続後に設定変更が反映されます。

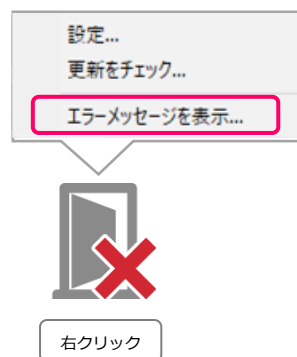
END

ワンポイント

【ドアのアイコンに×が表示される場合】

アイコンを右クリックし、メニューから「エラーメッセージを表示...」を選択し、接続に失敗している理由やお問い合わせコードをご確認ください。
お問い合わせコード **291** の場合、入力したパスワードが誤っている可能性があります。パスワードを確認し、改めて設定し直してください。

解決しない場合やその他のお問い合わせコードの場合は、[P.7のワンポイント](#)をご確認ください。



接続先機器(対象機器)のオプション設定

Windows 10 を例に説明します。


設定内容

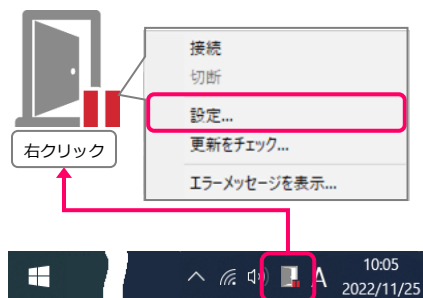
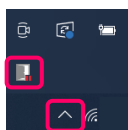
- | | |
|-----------------------|------------|
| a. Proxyの設定 | P.31 |
| b. ビューアに表示される接続機器名の変更 | P.33 |

「Proxyの設定」はご利用のネットワークの管理者に確認の上、必要な場合のみ実施してください。
 入力する情報についてもネットワークの管理者に確認してください。
 必要の無いネットワーク環境でProxyの設定を実施した場合は通信エラーになります。

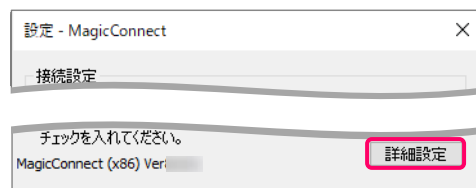
a. Proxyの設定

Step1 デスクトップの画面右下、通知領域に表示されているドアのアイコンを右クリックし、メニューから「設定...」を選択します。

注意 アイコンが表示されない場合は、通知領域の  を押し、隠れているドアのアイコンを表示させます。



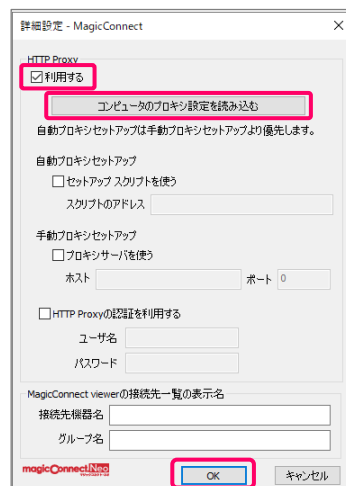
Step2 設定画面右下の「詳細設定」を選択します。



Step4 「利用する」にチェックを入れます。

「コンピュータのプロキシ設定を読み込む」を選択します。
(PCに設定されている情報が「自動プロキシセットアップ」や「手動プロキシセットアップ」の欄に反映されます。)

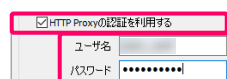
「OK」を選択します。



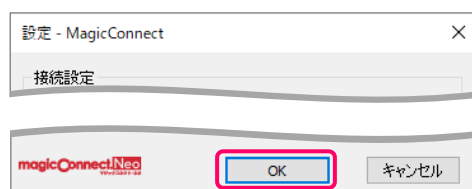
ワンポイント

【Proxyサーバで認証を利用している場合】

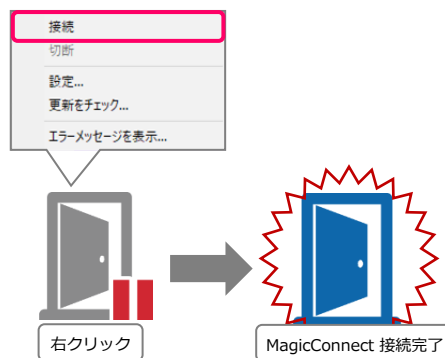
「HTTP Proxyの認証を利用する」にチェックを入れ、Proxyサーバの認証情報を入力します。



Step5 設定画面の「OK」を選択します。



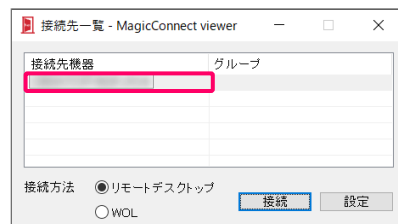
Step6 デスクトップ画面右下の通知領域にあるドアアイコンを右クリックし、メニューから、「切断」→「接続」を選択します。
アイコンがグレーからブルーに変わり、マウスカーソルをアイコンに重ねると「MagicConnect 接続完了」と表示されます。



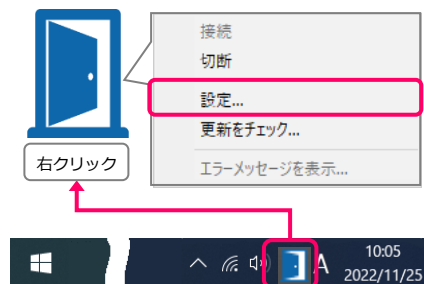
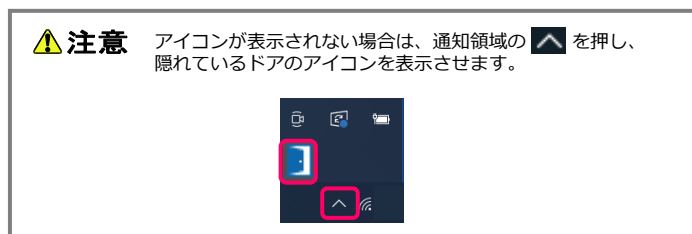
END

b. ビューアに表示される接続機器名の変更

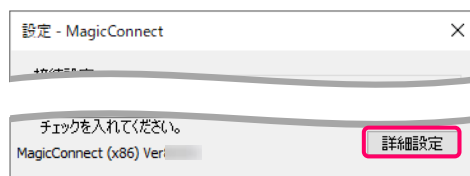
初期状態ではコンピューター名が表示されますが、識別が容易な名前を指定することができます。



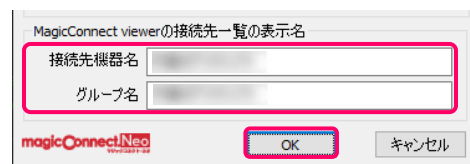
Step1 デスクトップの画面右下、通知領域に表示されているドアのアイコンを右クリックし、メニューから「設定...」を選択します。



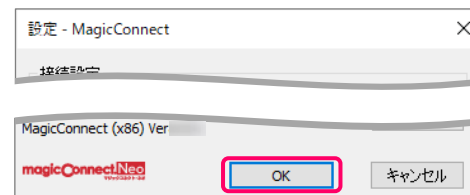
Step2 設定画面右下の「詳細設定」を選択します。



Step3 「接続先機器名」に表示名を入力します。「グループ名」の入力は任意です。
「接続先機器名」が空欄の場合、ビューアの接続先一覧画面にはコンピューター名が表示されます。



Step4 設定画面の「OK」を選択します。



Step5 接続中の場合、切断、接続後に設定変更が反映されます。

END

手元端末のオプション設定 [Windows]

Windows 10 を例に説明します。

設定内容

a. Proxyの設定

..... P.34

通常は初期設定（「利用する」＋「コンピュータのプロキシ設定を使う」）のまま利用でき、このページの手順を実施する必要はありません。

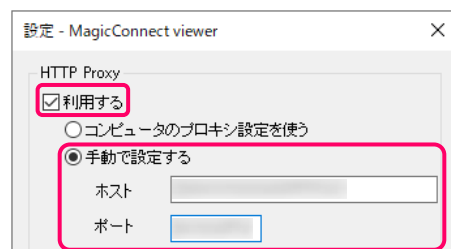
ご利用のネットワークの管理者に確認の上、「コンピュータのプロキシ設定を使う」では支障がある場合のみ実施してください。入力する情報についてもネットワークの管理者に確認してください。

a. Proxyの設定

Step1 ログイン画面で設定を選択します。

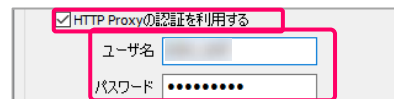


Step2 「HTTP Proxy」の「利用する」にチェックを入れ「手動で設定する」を選択します。
利用するネットワーク環境で使用しているProxyサーバの情報を「ホスト」と「ポート」に入力し、画面左下の「OK」を選択します。



ワンポイント

【Proxyサーバで認証を利用している場合】
「HTTP Proxyの認証を利用する」にチェックを入れ、Proxyサーバの認証情報を入力します。



END

手元端末のオプション設定 [Mac]

macOS Mojave を例に説明します。

設定内容

a. Proxyの設定

..... P.35

通常は初期設定（「利用する」＋「Safariの設定を使う」）のまま利用でき、このページの手順を実施する必要はありません。

ご利用のネットワークの管理者に確認の上、「コンピュータのプロキシ設定を使う」では支障がある場合のみ実施してください。入力する情報についてもネットワークの管理者に確認してください。

a. Proxyの設定

Step1 ログイン画面で設定を選択します。

Step2 「HTTP Proxy」の「利用する」にチェックを入れ「手動で設定する」を選択します。
利用するネットワーク環境で使用しているProxyサーバの情報を「ホスト」と「ポート」に入力し、画面下の「OK」を選択します。

ワンポイント

【Proxyサーバで認証を利用している場合】
「HTTP Proxyの認証を利用する」にチェックを入れ、Proxyサーバの認証情報を入力します。

END

手元端末のオプション設定 [iPhone/iPad, Android端末]

	設定内容
iPadを例に説明します。	a. Proxyの設定 P.36

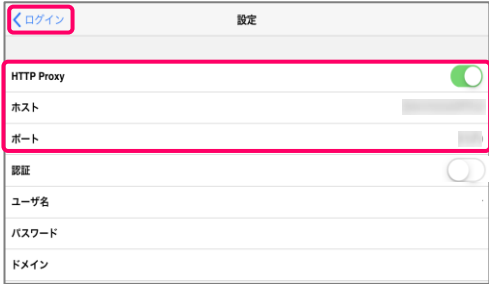
「Proxyの設定」はご利用のネットワークの管理者に確認の上、必要な場合のみ実施してください。入力する情報についてもネットワークの管理者に確認してください。必要の無いネットワーク環境でProxyの設定を実施した場合は通信エラーになります。

a. Proxyの設定

Step1 ログイン画面右上にある「設定」を選択します。

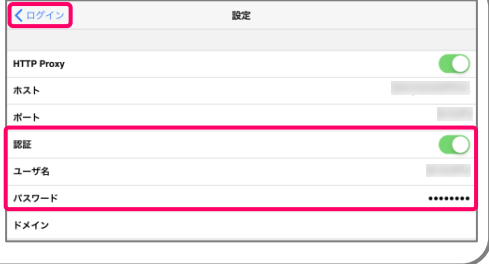


Step2 「HTTP Proxy」をオンにして、利用するネットワーク環境で使用しているProxyサーバの情報を「ホスト」と「ポート」に入力します。画面左上にある「ログイン」を選択します。



ワンポイント

【Proxyサーバで認証を利用している場合】
「認証」をオンにして、Proxyサーバの認証情報を入力します。



END